

# べっぴん 市議会だより

2015.2.1

NO.122



別府市議会は閉会中も様々な活動を行っております。

- 10月14日(火)  
市民協働に関する議員研修会(写真左上)
- 10月22日(水)～23日(木)  
行財政・議会改革等推進特別委員会先進地視察(写真右上)
- 10月27日(月)～11月4日(火)  
決算特別委員会実相寺パークゴルフ場現地視察(写真右下)



## 平成25年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算について 附帯決議を付して可決

### CONTENTS

P2～3

議決内容(補正予算、条例の一部改正、意見書等)

P4

議案質疑「ハイスクールコンサートについて」  
「(株)大分県畜産公社新施設整備建設費補助金について」

P5

常任委員会審査

P6～11

一般質問(13名が市政を問う)

P12

行財政・議会改革等推進特別委員会活動報告、議決結果の賛否ほか

# ● 平成26年 第4回(12月) 定例会

12月定例会は、初めに継続審査中の平成25年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算について附帯決議を付して認定いたしました。その後、補正予算や条例案件などの11議案が上程され、提案理由の説明、議案質疑、所管の常任委員会の審査の後、採決の結果、すべて原案のとおり可決等されました。主な内容は以下のとおりです。

## 決算認定

◎平成25年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成25年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について(附帯決議)

## 附帯決議とは

議会又は委員会において案件に対する執行上の要望などをまとめたもので、案件に付随する決議です。

## 補正予算

◎平成26年度別府市一般会計補正予算

◇職員人件費ほか

7270万9千円

給与改定等に伴う給与関係費及び臨時職員の増加に伴う賃金等の補正

◇交通体系整備促進に要する経費

40万円

別府市公共交通活性化協

議会(仮称)設置のための経費

◇教育祭に要する経費

122万6千円

ハイスクールコンサートを開催するための経費

◇災害復旧に要する経費

5817万6千円

平成26年7月、9月の大雨及び10月の台風等により被災した農地及び農業用施設の災害復旧のための経費

◇(株)大分県畜産公社新施設整備建設費補助金(債務負担行為)

1億3697万円

債務負担行為とは

歳出予算に計上された経費の金額等以外で、地方公共団体が債務を負担する必要がある場合の予算措置です。

◎平成26年度別府市国民健康保険ほか2事業特別会計補正予算

◇地域介護予防活動に要する経費

別府市介護予防活動に要する経費

## 12月定例会 会期の経過

11月21日	議会運営委員会
27日	本会議(決算特別委員会委員長報告、討論、表決、議案上程等) 行財政・議会改革等推進特別委員会
12月1日	本会議(議案質疑、委員会付託)
2日	本会議(一般質問)
3日	本会議(一般質問) 議会運営委員会
4日	本会議(一般質問) 広報広聴委員会
5日	各常任委員会
9日	本会議(各委員長報告、表決等) 議会運営委員会

## 条例の一部改正

生活・介護支援サポートー養成事業委託料及び介護支援ボランティア制度導入準備委託料 270万円

◎特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について

特別職の常勤職員等に支給する期末手当の額を改定することに伴う条例改正

◎別府市職員の給与に関する

る条例及び別府市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について  
職員の給料月額、期末手当及び勤勉手当を改定すること等に伴う条例改正

◎別府市国民健康保険条例の一部改正について  
出産育児一時金が改定されたことに伴う条例改正

◎別府市都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について



《定例会風景(市長提案理由の説明)》

鉄輪地獄地帯公園にドッグランを設置することに伴う条例改正

◎別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

児童扶養手当法の一部改正等による条例改正

## その他

◎旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて

県道別府一の宮線災害防除工事に伴うもの

◎市長専決処分について  
衆議院議員選挙執行に要する経費

## 意見書

議員より意見書5件が提出され、4件が原案のとおり採択されました。採択された意見書は、直ちに衆参両院議長、内閣総理大臣、その他各大臣等へ送付されました。

◎地域の中小企業振興策を求める意見書

①中小・小規模事業者が持つ技術・アイデアを製品化し、販路開拓まで一貫支援するため、地域の公設試験場等と連携した研究開発、中小企業基盤整備機構等と連携した販路開拓など、切れ目の無い支援体制を構築すること。 ほか2項目

◎「女性が輝く社会」の実現に関する意見書

①「2020年に指導的地位に占める女性の割合30%」との目標について、民間に先駆けて政府、国会、地方自治体がより早急に率先して取り組み、毎年その進捗状況について公表すること。

②女性が幅広い分野で活躍できるよう、職場復帰等の支援や、起業支援、在宅テレワークの推進など、女性が働きやすい環境整備のための支援措置を創設すること。 ほか4項目

◎年金積立金の安全かつ確実な運用の堅持を求める意見書

①年金積立金については、厚生年金保険法等の規定に基づき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すること。 ほか2項目

◎40人学級検討に反対し少人数学級の推進を求める意見書

少人数学級の推進ときめ細かな教育を実現するための平成27年度政府予算編成を求める。

◎所得税法第56条の廃止を求める意見書

《否決》

## 決算特別委員会

9月定例会にて継続審査となった平成25年度各会計歳入歳出決算の認定については、10月27日から11月4日にわたり委員会を開会いたしました。

最終的に審査の結果、本議案については附帯決議を付し認定すべきものと決定をいたしました。

本委員会では、市税や各使用料に関する徴収率向上の取り組みや不納欠損等の状況について、観光客誘致・受入に関する誘客プロモーション、インターネット宣伝の取り組み等の状況について質疑を行い、当局から詳細な説明を受けました。質疑終了後、反対、賛成討論を受け、本議案に対し次のとおり附帯決議を付すことといたしました。

「市民との協働推進を図る上でも重要な位置づけにある各種団体等への補助金制度については、これまでより更に高い透明性の確保と公平な運用を図る必要があること。また、個別の補助事業の実施については、行政と事業実施団体相互が課題や成果目標の共有などを通じて、取り組みの質を高めることで費用対効果の向上及び各種団体等の成長と自立を促す必要があること。以上、勘案し、今後の補助金の交付にあたっては、さらなる市民理解が得られる対策を講じられることを強く求める」。



《決算特別委員会審査風景》

## 議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。  
12月1日に5名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

### ◆ハイスクールコンサートについて

**問** ハイスクールコンサートについて、具体的にどういったイベントなのか、また、いつ実施するのかお伺いします。



《ハイスクールコンサートが開催される別府商業高校》

**答** 今年度は、県内唯一の市立高校である別府商業高等学校において1年から3

年までが在籍する最後の年度であります。その記念に生徒の心に残るイベントとして、「寺内タケシとブルージーンズハイスクールコンサート」を実施するものであります。このグループは、これまでに1500校以上の学校でコンサートを開催しております。コンサートにおいて寺内タケシさんは、「何かに精一杯打ち込んで、精一杯努力し、青春を精一杯楽しめ」と生徒を励ましております。この活動は、青少年の健全育成にも大きく貢献していると高く評価され、当時の文部大臣感謝状、文化庁長官表彰、厚生労働大臣賞等、多くの賞を受賞されております。

また、開催については2月上旬を予定しております。

### ◆(株)大分県畜産公社新施設整備建設費補助金について

**問** この畜産公社(豊後大野市犬飼町)は、平成27年度より建設に入ると聞いております。

これは債務負担行為でございますが、なぜ今回補正予算計上となったのか、その理由をお伺いしたいと思います。

**答** 畜産公社の建て替えについては、平成23年度から協議が開始され、平成25年に方針決定がされました。その後、負担割合等について協議がなされ、最終的に平成27年度に建設をすることに決定しました。

各市町村負担金について、予算確保を確認した上で取りかかるということで、今回債務負担行為として各市町村ともに計上するようになったことになっております。

**問** この畜産公社への別府市の補助金ですが、1億3697万円となっております。

補助金額は、各市町村の出資割、人口割、飼養頭数割、出荷頭数割で決定してありますが、当市は出資割の負担が多いと思われます。

最終的に、各市の負担額を見ますと、当市の約2.8倍が大分市、そして中津、日田、佐伯においては約3分の1しか補助金を出していないわけですが、いろいろな事情があると聞いておりますが、改善すべきところではないですか。

**答** 出資割の件ですが、これは建設当時、数十年前になります。そのころの人口、消費、状況によって決定されております。これを機に、ご指摘のあったように、出資割が現状に沿っているのかどうかについて、議論の中で提案をしておかないといけないと考えております。

補助金額について、総体的な工事業費は55億円で、国、県、市町村、それから農協団体、畜産公社で、出資の割合によって大枠のスキームは既に決められております。

した。

その割合の見直し方、手法等、全て市長会を通じて県に意見具申して、市町村負担分については、当初10億円だったのが9億5900万円程度に下がりましたが、別府市もわずかですが、下がっております。

以上の経緯があったわけですが、大分県全体の畜産振興を行うことは、観光のためにも、別府市としてもやむを得ないというふうな観点に立って、大分県市長会全体としてこの債務負担行為をお願いするようになった次第でございます。

## 平成27年 第1回定例会の日程

次の定例会は2月27日(金)から3月23日(月)を予定しています。  
(日程は変更になる場合もあります。)

# 常任委員会 審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

## 総務企画消防委員会

交通体系整備促進に要する経費については、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律等の施行に伴い、交通事業者等と連携し、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、別府市公共交通活性化協議会(仮称)を設置する経費であるとの説明がありました。

委員から、今後、交通網の形成を行ううえで、市民の意見を幅広く聞かなければならない。また、同時に域内交通についても、地域住民の意見を聴取して、まとめることが重要であると考えられる。その中で構成員の人選、特に市民の代表が重

要だと考えるが、どの様な基準で行うのかとの質疑がありました。

これに対し当局から、当協議会については、幅広い関係者が集まり、その中でまちづくりの視点も含めて、公共交通、都市計画、福祉、観光商工など、いろいろな課題を協議しなければならぬ。当然パブリックコメントの実施についても考えている。市民の代表については、高齢者福祉団体や通勤通学など実際に利用している方を人選していきたいとの答弁がありました。

## 観光建設水道委員会

今年8月にリニューアルオープンした不老泉の指定管理料の追加について、設

備の充実化に伴い入浴者数が全体で1・36倍、有料入浴者数が1・5倍近くに増加したことにより、ランニングコストも増加したこと等の説明がありました。

また、亀陽泉建設事業費の一部を来年度に繰越することについて、事業認定の協議に時間を要したことにより、来年度に繰越を行うことなどの説明がありました。

亀陽泉については、委員から、公共施設マネジメントの観点から、公共施設の整備は今後長期に渡って負うコストを考慮したうえで行うべきであるとの意見が出され、その上で、亀陽泉の開業後の収支額の見込みについて質疑がありました。

これに対し、当局から、現時点では具体的な収支額の算定は行ってはいないが、運営に当たっては、収支を均衡させるため努力したい旨の答弁があり、併せて市営温泉全体について、収支の改善に向けて努力していきたいとの答弁がありました。



《ドッグランが設置される鉄輪地獄地帯公園》

鉄輪地獄地帯公園にドッグランを設置することについて、施設の収支見込みについて質疑があり、当局から、従業員を1人常駐させるための人件費等の支出があるため、試算では年110万円程度の赤字が見込まれる旨の答弁がありました。

これに対し、委員から、最初から赤字を容認するのはなく、使用料以外の収入を検討するなど、収支の均衡に向け努力するべきではないかとの指摘がなされ、当局からは、前向きに検討したい旨の答弁がありました。

## 厚生環境教育委員会

介護保険制度改正に伴う、システム改修委託料を追加計上、及び、県からの全額補助にて、高齢者を中心とする一般市民を対象とした「生活・介護支援サポート」の養成、また、介護支援ボランティア制度導入に向けての、受け入れ施設との調整、講演会開催などに要する経費を計上するとの説明がありました。

委員から、ボランティアの活動内容を子育て支援等、幅広い分野にするべきではないかとの質疑があり、これに対し当局より、先進地等を研究し、事業開始後、状況をみながら検討したいとの答弁がありました。

さらに委員より、ボランティアを確保する手段として、NPO法人等への協力依頼を積極的に行うよう意見がありました。



# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。12月2日から4日の3日間13名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

## 買い物弱者を守る

公明党

市原 隆生 議員

**問** 高齢化が進む中で、買い物に困っているという声をよく聞く。このことは今までにも何回か質問させていたいただいたが、いまだ成果が上がっていないように思う。ただ、民間業者で宅配サービスを始めるところもあり、環境はいい方向に変わりつつあると思う。どのようなサービスが展開されているのか、また、行政が進めるべき事業との観点から、これらのサービスの紹介をすることができないのか。

**答** 市内全体でおよそ50のスーパーなどの事業所が実

## がん検診の受診率向上について

公明党

荒金 卓雄 議員

**問** 平成25年度のがん検診の全国受診率が40%を超えたが、別府市の受診率の推移はどうか。

**答** すべての受診率が県平均を下回っていますが、この5年間の受診者数は増加しています。

**問** 受診者の状況分析はどうか。

**答** 全年齢で男性が圧倒的に少なく、女性の3分の1以下です。年齢別では60・70歳代が多く、また継続的に受診している人が全体の60%以上でリピート率が高くなっています。

**問** がん対策の基本は早期発見、早期治療。受診率向上を図る取り組みはどうか。

**答** 青壮年層の男性の向上策が特に必要です。そして

新規受診者数の増加を重点取り組みと考えます。具体的には、子どもの健康診断に同行する保護者に対し、がん検診の勧奨を行い、更に、職場訪問で職域との検診情報の共有や、子宮頸がん検診の無料クーポンの未利用者を訪問し、受診勧奨を行っています。また、早期発見で、身体への負担や医療費を軽減できるなどの、個別説明など細かい情報提供を行います。

**問** 電動カートの利用者増加に対する道路整備の必要性は。

**答** 段差解消など車いす利用者と同じ道路整備が必要と考えます。

**問** 電動カート利用者の交通安全教室を警察と連携して行ってほしい。

**答** 現在は警察署で年1回開催しており、危機管理課の職員も参加し協力しています。今後は回数増加を警察に要望していきます。

## 傍聴・テレビ等 中継のご案内

定例会は本会議場での傍聴のほかにケーブルテレビ等でも視聴できます。

### ○傍聴

本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会議場4階へお越しください。傍聴席は80席あり、車椅子席も7台用意しております。

### ○ケーブルテレビでの生中継

CTBメディア「とんぼチャンネル」で生中継しています。

### ○インターネットでの生・録画中継

別府市議会ホームページ  
(<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>)「議会中継」で生録画中継しています。

※録画中継については、概ね1週間後から約1年間で中継をご覧いただけます。

### 別府市総合計画と 地方創生活

創政会

野口 哲男 議員

**問** 地方創生2法が成立、国は具体的計画となる総合戦略を策定することとなる。地方創生は地域間競争の性格を持っており、別府市をから作り直す百年先を見据えた構想力を持ってビジョン等の策定が必要と考えるが、その取り組みは。

**答** 地方創生総合戦略等については、国県市が十分連携する必要がある。また、本市の後期基本計画の策定を行う中で、総合計画を見直すこととしており、地方創生を十分反映させたい。

**問** 人口減少対策として若者の定着、子育て対策、出生数の増大等、別府市の特性を活かした独自の計画が求められるがキーワードは稼ぐ力をつくることであると言われる。IT産業等の誘致、起業家の育成、移住者の受入、

保育所の定員増・時間延長、観光振興の見直し、国際交流多文化共生の拡大、美術館・図書館の充実等、具体的な計画が求められるが、その対策は。

**答** 本市にとって雇用は大きな問題だと認識しており、経済の状況について行政経営会議に大分銀行から講師を招いて意見交換等行っている。様々な角度から具体策を練っていききたい。

**問** エボラ出血熱、MERS（中東呼吸器症候群）、鳥インフルエンザ等観光地でもあり感染症対策について、市民に対策の徹底を行うべきである。

**答** 国県等とも連携をとり、観光客対策等も抜かりなく



行い、市民の皆様にも周知徹底を図り、対応していく。

### マイナンバー制度の 対応について

公明党

堀本 博行 議員

**問** 社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度の導入について、市民の間でまだ良く分からないという声があるが、簡単に概要説明をお願いしたい。

**答** 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）は、平成25年5月に関連4法案が成立しています。国民一人ひとりの年金など社会保障給付や納税などを一つの個人番号で紐付け、連携するというものです。これは、

複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性、透明性を高め、国民にとって利便性の高い、公平公正な社会を実現する社会基盤（イン

フラ）であります。

**問** 市民課としては今後どういうスケジュールで進めるのか。

**答** 今後の計画ですが、平成27年10月に個人番号の付番及び番号の通知を開始いたします。その後、平成28年1月には個人番号カードの交付を開始し、順次、個人番号の利用開始となります。平成29年1月に、国の機関間の連携から開始され、7月を目途に地方公共団体との連携についても開始されることとなります。

別府市においても、基本的には国が示したスケジュールに従い進めていくこととなります。



（マイナンバー制度の広報用ロゴマーク「マイナちゃん」）

### 道路行政、空き家対策、 エコまちづくり

市民クラブ

森山 義治 議員

**問** 別府市道は凸凹や継ぎはぎが多く道路面が悪い。市道埋設物の突発工事の時こそ各占用者に点検補修をして頂きたい。また、日ごろから道路を良く知っている市民、郵便局員、公共交通事業者が、スマートフォンを利用し危険箇所の映像を、別府市へ送信するアプリケーションシステムを取り入れてはどうか。

**答** 年2回道路占有者連絡会議を開催し計画的に工事進行を議論しているが、突発工事については今後検討していきます。また、市民や各事業者から危険箇所の情報を直接取り込めるアプリケーションのシステムづくりをやっていきたくと考えています。

**問** 空家等対策の推進に関する特別措置法の制定に伴



《空き家利活用などの対策は》

い、今後の相談窓口専任者の増員について、また空き家の利活用に関しては、縦割行政でなく、他の部署との連携をどの様にお考えでしょうか。

**答** 空家対策特措法は、自治体に様々な制度政策を求めています。予算の整合を図り法律施行日までに体制を構築します。今後の利活用は各課と調整連携部分があり、関係各課に情報提供し市民ニーズを把握しながら推進します。

**問** 全国相互利用できる交通系ICカード用の端末機を各商店に設置し、交通と

商業のまちづくりを進めてはいかがでしょうか。

**答** 他市の状況等を調査し利用促進に努め検討していきます。

観光・福祉・補助金

自民べっぶ

野上 泰生 議員

**問** 海外からの宿泊客が増えている。国際的な観光地間の競争に臨むには、中期の戦略策定、観光分野の専門人材の登用、効果的なマーケティングのしやすい機動的な観光推進組織(別府版DMO)が必要。

**答** 入湯税収3億円を財源として、別府の強みである「宿泊客」を増やすための組織に変えるべき。国の地域創生戦略とも一致するので、資金獲得もしやすいはず。

**答** 東京オリンピック等に向けて観光客誘致競争は激化する。別府版DMOの研

究をしたい。

**問** 地域単位の良質な介護・医療・予防の取り組みを推進する「地域包括ケアシステム」の構築には、中核となる人材の育成が重要。そのためには、直営の地域包括支援センターが必要と考える。

**答** 行政直営の地域包括支援センターの設置について検討に入りたい。

**問** 民間団体に出されている補助金は、より公正で透明性の高い制度で運営されるべき。成果目標等も可能な限り明示すべき。補助金制度改革を進めて欲しい。

**答** 進めたい。まずは、民間団体が提出する書類をより詳細な目標設定等を記載する様式に変更すると共に、市のホームページを通じて市民に開示するようにしたい。



国保税の負担軽減、認知症対策など

日本共産党議員団

平野 文活 議員

**問** 国民健康保険事業特別会計は、平成19年度に9億2千万円であった累積赤字を、国保税の大幅値上げと一般会計からの繰入れにより、平成25年度には解消できた。しかし、国保税の負担軽減の市長公約は実現できていない。来年度の税率改正で、この公約は実現するのか。

**答** 2年間に2億5500万円の一般会計からの繰り入れをした。一般会計の状況を判断して、まずは赤字を解消し、市民の負担軽減を図った。

**問** 別府市では、要支援・要介護認定を受けている高齢者の半数以上に認知症状がみられる。宇佐市では、福岡大学の専門家の指導のもとで本格的な取り組みをして、軽度障がいの人が正常

値に戻るなどの成果をあげている。別府市でも取り組むべきではないか。

**答** 検討する。



《わくわく健康づくり教室》

**問** 宇佐市では、全高齢者を対象にした健康づくりを本格的に推進して、国保被保険者の一人当たり医療費が、平成24年度に比べて平成25年度は約1万2762円も減っている。別府市でも本格的に取り組むべきではないか。

**答** 現在、亀川地区でモデル事業をしており、全市に広げるよう努力する。



防災対策について

創政会

黒木 愛一郎 議員

**問** 西地区で11月2日に実施された防災訓練には多数の参加を頂き大成功であった。訓練を計画する中で、西地区には男性防災士しかなく、女性防災士の必要性を感じた。市として女性防災士に対する考えを聞きたい。

**答** 市としても、女性目線での防災対策も必要と考え、今年度各自治会で最低1人は女性の防災士を育成するようお願いしました。



《西地区防災訓練風景》

**問** 各自主防災会も厳しい予算の中で防災用資機材をそろえようとしているが、市として予算補助など検討できないか。

**答** 自主防災会による日頃からの地域での防災活動などが、災害が発生した場合の減災につながるものと認識している。今後、他市の補助制度等も参考にしながら、本市にとってどの様な形が適しているのかも含めて検討していきたい。

**問** 防災士の一員として、私も地域のつながりが減衰につながると考えている。長野県白馬村での地震被害で1人の死者も出さなかったのはその顕著な例だと思う。別府のような大都市では住民のつながりが希薄になりつつあるが、災害発生時に支援を必要とする人たちに対するケアを進めるうえでは個人情報への壁を感じる。

**答** 今後も自治会等の協力を仰ぎながら、避難行動要

支援者の把握に努めてまいりたい。

教育行政・観光行政について

創政会

手束 貴裕 議員

**問** 深夜までインターネットを使用することが原因で小中学生の生活リズムが乱れている実態があると聞きますが別府の状況を教えてください。

**答** 別府市では、スマートフォン等で1日に2時間以上ゲームをする割合は小学校6年生の32.6%、中学校3年生の33.9%です。また、メールやインターネットをする割合は小学校6年生の7.1%、中学校3年生の29.3%と高く、このことが小中学生の生活リズムの乱れにつながっていることが推測されます。

**問** 市内小中学校の家庭学習時間はどれくらいですか。

ホームページのご案内

別府市議会ホームページでは、議員の紹介、議会中継、議事録の検索などの情報に加え、このたび新たに「議員一人ひとりの議案に対する賛否の公表」「政務活動費支出使途の公表」について掲載することとなりました。



<http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

**答** 小学校6年生で家庭学習時間が1時間未満の児童が約38.9%、中学校3年生で2時間未満の生徒が66.6%となっており、それぞれの学年の学習内容を定着させるためには不十分であると考えております。

で137回の宣伝を行い、今後も含めて169回の出演を予定しています。また、ビーコンプラザを会場として「プロジェクトシヨムマップ」の上映、「タイガー&バニー」「チャギントンMINI」等幅広い世代に人気のキャラクターを使用して希少価値の高い展示物や回遊イベントを開催する準備を進めています。

**答** 別府市宣伝部長「べっぴん」は県内外でこれま

**問** 今年度の「誘客プロモーション事業」の事業展開を伺いたい。



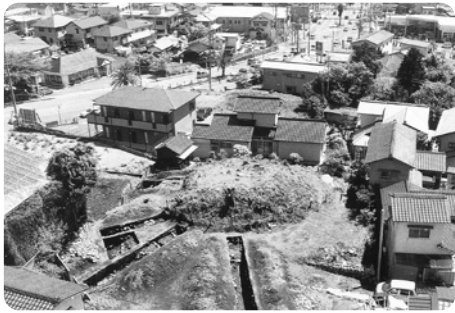
### 天神畑古墳について

自民党議員団

松川 峰生 議員

**問** 今年7月に市が取得した天神畑古墳用地の現状について伺いたい。

**答** 今回取得した用地は、実相寺古墳群の中の天神畑古墳です。実相寺古墳群とは、県史跡に指定されている鷹塚古墳、太郎塚・次郎塚古墳と今回取得した天神畑古墳を加えた複数の古墳で構成される。古墳時代後期における県内最大級の古墳群で、市内では国の史跡鬼



《実相寺古墳群(鷹塚古墳)》

ノ岩屋古墳群と双壁をなす重要な古墳群です。

**問** この実相寺古墳群はいつ頃造られたのか。

**答** 西暦600年前後で、聖徳太子が活躍していた頃のものです。

**問** 別府に集中して古墳が造られている。なぜこの時代に鬼ノ岩屋や実相寺の古墳群が造られたのか。

**答** 鬼ノ岩屋や鷹塚古墳などの大型古墳群が別府に集中しており、このことは県内最大の勢力が別府に存在していたことを物語っているのではないかと考えられます。

**問** この実相寺古墳群の整備方針について考えを伺いたい。

**答** 実相寺古墳群は、別府の古墳史を探る上で欠かすことのできない、非常に重要な、また、価値のある史跡です。別府の発展の礎と

なったこの重要な文化財を保存し、活用しながら次世代を担う子どもたちに、ふるさと別府の歴史を伝える取り組みをしっかりと行ってまいりたいと思います。

### 別府市の農業と南部地区の活性化

自民べっぶ

首藤 正 議員

**問** 別府市の農地面積、遊休農地はいくらあるのか。また、遊休農地と生産強化対策の状況は。

**答** 耕地放棄地は、30ha以上の農地所有者でみると、農地面積312haに対して123haで約4割。

今後は、地域、農業委員会やJAと連携をしながら、担い手育成、新規就農者への支援強化、後継者不足の解消など地域との対話を進めていく。

**問** 農業地域の防災、減災、復旧対策の取り組みの状況はどうなのか。

**答** 台風、豪雨等で農業施設等の被害が出ている。二次災害を及ぼす恐れのある箇所を含め、危険と思われる場所の調査を実施し対策を講じていく。また、猪、猿による被害が増大しているが、鳥獣捕獲強化対策が策定されたので実施を図っていく。

**問** 県道別府く挟間線の開通も近いが、南部地区の活性化にどの様にして結び付け振興を図っていくのか。

**答** この新設県道に接続される浜脇中学校上の市道浜脇観海寺線、浜脇再開発地区周辺と、山家から両郡橋を結ぶ市道の整備が必要となるので検討し早期実現を図っていきたい。現市道の都市計画変更や旧南小学校、統合予定の浜脇中学校の跡地問題は、周辺施設等との連携を含めて南部振興を図っていきたい。また、湯都ピア浜脇は、施設の特徴を生かして今まで以上に集客を図り、モール商店街にとっても絶好の好機ととらえ魅

力あふれる浜脇の中心地としての活性化施策を講じていく。



《浜脇地区の活性化を》

人件費の不適切な支給は8000万円

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

**問** 別府市は平成19年から、実際の職務内容より上の級の給与を44名に(総額8千万円)支給している。例えば、主任である職員に係長の給与が支給されること。地方公務員法に違反する不適切な支出ではないか。

**答** 県からは問題があるとして指摘を受けている。改善には労働組合との協議も

必要。

**問** さらに、市の高校卒技能労務職の初任給が県と比べ4400円高い。不適切な給与が支払われている。早急な改善を強く求める。

**答** また、県下で高齢者の買い物等の支援に福祉バスや乗合タクシーを運行していないのは別府市だけか。

**問** これまで、高齢者の生活支援にワンコインバスや福祉バスなどの運行を求めてきた。

**答** 今回、公共交通活性化協議会が設置されるのは評価したい。計画年次を早めて期待に添えてほしい。

**問** 交通網形成は協議事項が多いが可能な限り対応したい。

**答** 全国の高齢者の健康づくり拠点として、温泉を活用して地域創生の事業を進めてはどうか。

**問** 検討したい。

市民の要望に  
どう応えるか

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

**問** 国保税の負担軽減など実現の見通しもなく公約したのか。現職市長の公約は重い。

**答** 値下げが最終目的だが、まず赤字解消を優先してきた。2億5500万繰入れ、赤字を解消した。財源が許せば引下げるといふ方向は引き継いでいく。

**問** 共産党市議団の市民アンケートにも国保税引下げを望む声が51%で一番多い。来年度引き下げるべき。年金引下げなど国政の市民生活への影響が大きい。国に声を上げよ。

**答** 市民生活に大きく影響することについては、これからも市長会を通じて要望していきたい。

**問** 市長は市民目線と言うが、4年間で1840万

円の市長退職金は高すぎるという声が市民の声だ。

**答** 平成18年度以前は3260万円だったが44%減額した。

**問** ワンコインバスや乗り合いタクシーなど高齢者への外出支援を早く実現すべき。

**答** 公共交通活性化協議会で協議し来年度計画をつくる。スピード感をもって取り組むたい。

**問** 子どもの貧困率は16.3%と悪化している。子どもの医療費助成は、県下7市町村が中学生まで通院も対象になっている。別府でも拡大を。

**答** 助成枠の拡大は望ましいが、別府市独自の助成は難しい。

**問** 市民の要望が強く国県に要望を。

**答** 要望する方向で整理したい。

平成26年 議会活動状況(平成26年1月～12月)

● 本会議及び議決件数

定例会	会期日数	傍聴者数	提出議案
第1回(3月)	25	63	34
第2回(6月)	15	77	25
第3回(9月)	17	117	41
第4回(12月)	13	63	17
臨時会	-	-	-

※この他に、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

付託とは、議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立ち詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会等に審査をゆだねることを言います。

● 常任・特別委員会など

委員会名	開催日数	付託件数
総務企画消防委員会	5	29
観光建設水道委員会	5	22
厚生環境教育委員会	5	23
予算特別委員会	5	16
決算特別委員会	5	1
行財政・議会改革等推進特別委員会	5	-
市有財産活用推進特別委員会	4	-
議会運営委員会	15	-
会派代表者会議	3	-
広報広聴委員会ほか	16	-
全員協議会及び調査会	2	-

## 行財政・議会改革等推進特別委員会活動報告

行財政・議会改革等推進特別委員会は、「市民と議会との対話集会」でのご意見や他市の議会改革等の状況を調査し、このたび「政務活動費」、「議決結果賛否」について、公表することを申し合わせました。公表の内容及び時期については以下のとおりといたします。



《本会議起立採決の風景》

### ● 政務活動費

- ・支出項目ごとの金額を基礎にして、主たる内訳を公開する。
- ・前年度の経費を一括して公開する。(平成26年度分を平成27年度に公開する。)

### ● 議決結果賛否

- ・ホームページでは全ての議案について、また市議会だよりについては賛否の分かれた議案のみを公開する。
- ・平成26年第4回(12月)定例会の議決結果から公開する。

## 平成26年第4回市議会定例会議決結果

区分	議案番号	件名	議決結果	自民べっぶ					公明党			市民クラブ			創政会		自民党員		勝政会		日本共産党員		行財政改革			
				野上泰生	松川章三	吉富英三郎	山本一成	永井正	河野数則	首藤正	穴井宏二	荒金卓雄	市原隆生	堀本博行	森大輔	三重忠昭	森山義治	加藤信康	手束貴裕	黒木愛一郎	野口哲男	松川峰生	三ヶ尻正友	国実久夫	江藤勝彦	猿渡久子
その他	80	平成25年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成25年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
意見書	19	所得税法第56条の廃止を求める意見書	否決	×	×	長	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	

※議案賛成者は○、反対者は×、退席者は一、欠席者は欠、法律により採決に加えられない議案は除。また、議長は採決に加わりません。

## 市有財産利活用推進特別委員会活動報告

平成26年9月(第3回)定例会において、「公共施設再編整備基金条例」が制定され、今後の施設再編を実施するうえで第一歩を踏み出しました。当委員会でも委員会を開会し、以下の項目等について現状の認識、また、今後のあるべき姿について調査研究を行いました。

▶ 別府市を代表する公共施設「竹瓦温泉」



### 平成26年8月20日(水)

- ・公共施設の現状等について(別府市公共施設白書)
- ・学校統廃合の現状について

### 平成26年11月13日(木)

- ・市営住宅の現状と今後の計画等について

### 平成26年11月19日(水) 先進地視察

- ・鎌倉市公共施設再編計画の策定について

## 編集後記

現在、別府市議会では、協働のまちづくり推進条例(仮称)の制定に向けて準備を行っております。

12月の定例会においても、地域介護予防支援事業等の審議がなされ、市民と市(行政)が互いに手を取り合って地域の発展に努めていく必要性と重要性を強く感じております。

また、今回の定例会より「議決結果の賛否」を市議会だより及びホームページにて掲載することといたしました。

さらに、議会運営委員会においては、平成27年度より「政務活動費」の公表を決定いたしました。

市民の皆様から負託を受けた代表者として、議員としての意思決定を明確にするとともに、議会の透明性を確保するものです。

今後とも、「開かれた議会」を目指し、市民の為の議会として、全議員一丸となり改革を進めてまいります。

結びとなりますが、皆様がよく春をお迎えになりますよう心よりお祈り申し上げます。

広報広聴委員会委員

議長 吉富 英三郎